

2026 年度 後期日程

国 語

(試験時間 60 分)

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この冊子の中を見てはいけません。
2. 問題は〔I〕の1題です。
受験者は、問題〔I〕を解答しなさい。
3. この問題冊子は、9 ページあります。
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページ落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等
に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
4. 解答用紙が 1 枚およびメモ用紙が 1 枚あります。
5. 試験終了後、問題冊子とメモ用紙は持ち帰りなさい。

〔I〕

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

具体的な行動を選ぶ

言われたとおりに行動することの難しさの一つは、「言葉に表れていること以外にもさまざまなことを考慮しなければ、言われたことを適切に実行できない」という点にあります。

たとえば、「コップに水⁽¹⁾を入れて」というのは、私たちにはとても具体的に⁽²⁾簡単な指示であるように思えます。しかし、いざこれを実行しようとすると、^a意外な複雑性が絡んできます。

その複雑性の説明に移る前に、これまでの復習も^あかねて、この指示自体にも曖昧性や不明確性があることを押さえておきましょう。「コップ」には、一つのコップなのか、複数のコップなのか、コップであればどれでもいいのか、特定のコップのことなのかなどといった曖昧さがありますし、「水」もペットボトル入りのミネラルウォーターなのか水道水なのか、やかんに入った水なのか曖昧です。「入れる」にしても、どれくらいの量を入れればいいのかという不明確性があります。先に見たとおり、このあたりの曖昧さを解消するには、常識や文脈、話し手についての知識などを考慮しなければなりません。ここでは一応、そのあたりの曖昧さは解消されており、「特定の一個のコップに、水道水を、コップに入る量の3分の2ほど入れる」という指示者の意図が分かっていると仮定します。

指示者の意図がここまで^いシヨウサイに分かれれば、「コップに水を入れて」という指示に従うのは簡単であるように思えるかもしれませんが。しかし、もしコップが汚れていたり、コップの内側に虫⁽³⁾が止まっていたりしたらどうでしょうか。きつとたいいの人は、そのまま水を入れることはせず、コップを洗ったり、コップから虫を追いつたりするでしょう。つまりここで、「コップに水を入れる」という行動とは別の行動が必要になります。

また、コップをつかむときには、コップを落とすほど弱くつかんではいけませんし、逆にコップが割れそうなほど強くつかん

でもいけません。水道水をコップに入れるときにも、もし近くに水に濡^ぬれてはならないものがある場合は、水が飛び散らないように気をつける必要があります。つまり、コップに水を入れるという行為に伴^アって、さまざまな「望ましくない結果」が起こらないようにすることも考慮しなければなりません。

このように、「コップに水を入れて」というきわめてシンプルな指示を実行する上でも、ただ言われたことだけをすればいいというわけではなく、それに「付随する仕事」が発生したり、「気をつけるべき点」が出てきたりします。「卵^ゴ焼きを作れ」とか「洗剤を買ってこい」のようなより複雑な指示の場合には、そういった「付随する仕事」や「気をつけるべき点」が増えるのも想像^イに難くないでしょう。

人間やAIが言われたことをうまく実行できるかどうかは、このような「付随する仕事」や「気をつけるべき点」を適切に発見できるかによります。こういったことを発見するには、先に挙げた常識や文脈についての考慮はもちろん、指示をしてくる人がそもそも何を念頭に置き、何を目的にして指示をしてくるのかを知ることが重要です。「コップに水を入れて」にしても、人間やペットが飲むための水なのか、鉢植えの花に水をやるための水なのか、何らかの掃除に使うための水なのか、お仏壇にお供えするための水かなどによって、「付随する仕事」や「気をつけるべき点」も変わってきます。

もし、人間や動物が飲むための水であれば、コップの汚れは気にしなくても構いません。しかし、鉢植えへの水やりや掃除のためであれば、そこまで気にしなくても良いかもしれませんが。また、指示をしてくる人が非常に急いでいる場合は、コップを念入りに洗っている時間はないかもしれません。そのときも、コップを洗わないか、急いで洗うか、（指示した人の意図を一部無視して）別のきれいなコップを使うか、（指示した人が急いでいるのを無視して）自分の気のすむまでじっくり洗うかといった、さまざまな選択肢が出てきます。

いずれにしても、私たちが他人の指示に従って何かを行う際には、実はこういった膨^ウ大な判断が関わっています。そういった

判断は、指示をしてきた人や自分が何を優先すべきと考えているか、何に気をつけるべきと考えているかに基づいてなされる必要がありますが、私たち人間はそういった判断をたいてい瞬時に行っているようです。

フレーム問題

しかしながら、何に気をつけるべきか、また何に気をつけなくて良いかということについての私たちの判断がつねに正しいとは限りません。とくに相手との間に価値観の違いなどがある場合は、相手の言ったとおりにしたつもりでも、相手からはそう思われないことがあるでしょう。たとえばあなたが「水を早く持つていくことよりも、コップがきれいなことが重要だ」と思っていたとしても、相手の方は「コップがきれいなことよりも、水を早く持つてきてもらうことが重要だ」と思っているかもしれないかもしれません。そんなとき、時間をかけてコップの汚れを洗っていたら、相手は不本意だと感じるでしょう。（もちろん、そういう場合にあなたが「指示どおりに行動できなかった、失敗した」と思うか、それとも「言われたとおりにコップに水を入れて持つてきてやったんだから、ありがたく思え」と思うかは自由です。）

こういったケースは多くの人が経験していることと思います。実はAIにとっても、「何かを行う際に、何に気をつけて、何に気をつけなくて良いか」という判断が難しいことが指摘されています。「フレーム問題」と呼ばれるこの問題は、1969年にジョン・マッカーシーとパトリック・J・ヘイズによって指摘されたものですが、その後、哲学者ダニエル・デネットが分かりやすい寓話^{※ぐうわ}で例示しています。以下ではその寓話を、やや簡略化して述べてみましょう。

自分で目的を持つて動くことができ、周囲の状況を認識することができる、かしこいロボットがいるとします。そのロボットは、とある部屋に自分用のバッテリーを取りに行きました。バッテリーの上には時限爆弾が置いてあります。ロボットは、バッテリーの上に時限爆弾があることを認識していましたが、そのままバッテリーを持ち出すと爆弾が爆発することに

は気がつきませんでした。ロボットはバッテリーを持ち出し、**爆弾は爆発し**、^①ロボットも壊れてしまいました。

ロボット開発者たちは、この事件を深刻に受け止めました。^うグントウの結果、自分の目的とする行為を行うだけでなく、その行為に伴ってどんなことが起きるかまで予測できるよう、ロボットを改良しました。その「かしこいロボット2号」もまた、自分のバッテリーを取りに行き、バッテリーの上に爆弾が置いてあることを認識しました。そのロボットは、「もし自分がバッテリーを動かしたら、何が起こるか」を予測し始めます。ロボットはまず、「もし自分がバッテリーを動かしたら、壁の色は変わるだろうか」と考え、「壁の色は変わらない」と結論づけます。さらに「床は傷つくだろうか」「埃は舞うだろうか」「窓は開くだろうか」などといったことを、その場で延々と考え続けます。結局、ロボットが「もし自分がバッテリーを動かしたら、爆弾が爆発するだろうか」と考え始める前にタイムリミットが来てしまい、^②**爆弾の爆発**によってロボットは壊れてしまいました。

この問題に頭を悩ませた開発者たちは、さらにロボットを改良しました。今度の「かしこいロボット3号」は、自分がしようとしていることに伴ってどんなことが起きるかを予測できるだけでなく、それが無視していいものかどうかまで判断することができます。そのロボットもバッテリーを取りに行き、上に爆弾が置いてあることに気づきます。そのロボットは、「もし自分がバッテリーを動かしたら、何が起こるか」を考え、「壁の色は変わらないが、このことは無視していいだろうか?」「床は傷つくが、このことは無視していいだろうか?」「埃は舞うが、このことは無視していいだろうか?」などといったことを、延々と考え続けます。そうやってさまざまなことについて「無視していいかどうか」を考え続けているうちに、^③また**爆弾が爆発**してしまいました。

この寓話は、AIにとって「無視すべきことを適切に無視する」ことがいかに難しいかを物語ったものです。一応お断りしておくと、フレーム問題が指摘された当時のAI^dは、「こういうときはこのような計算に従ってこういう判断をする」という「人間が書いた規則」によって動くものでした。^{*} ニューラルネットワークのアイデア自体はありましたが、今のような「多層で大規模なネットワーク」を実現するギバ^えンはありませんでしたし、実現できるとも思われていませんでした。よって、このお話に出てくるロボットは「自分がこうしたら、こうなる」「自分がこうしたらこうなるけど、それは無視していい」／「無視すべきではない」ということを、規則に従って逐^エ「計算します」。

このロボットの「考え方」はとても論理的ですが、そのせいで判断を素早く下すことができていません。どうやら、規則に従った論理的な計算だけでは「気にするべきことを気にして、気にしなくていいことは気にしない」という判断が適切にできないそうだ、というのがこの問題の主旨です。

(川添愛『ヒトの言葉 機械の言葉 「人工知能と話す」以前の言語学』による、一部改変)

※ 寓話——擬人化した動物などを主人公とし、教訓や風刺を織り込んだ物語。

※ ニューラルネットワーク——人間の脳の神経細胞の働きを模倣し、データからパターンを学習して予測や分類を行う機械

学習モデル。

問一 傍線部あゝえのカタカナを漢字に直せ。

問二 傍線部アゝエの漢字の読みを平仮名で書け。

問三 破線部(1)「水」、(3)「虫」とあるが、「水」あるいは「虫」を用いた慣用句として使い方が適当でないものを、次のアゝオのうちから一つ選べ。

ア 毎日十冊以上の本を読む私は、周りの人から本の虫だと言われることが多い。

イ A社は急速な時代の変化についていけず、ライバルのB社に大きく水をあけられた。

ウ 腹の虫がおさまらないのは、消費期限を過ぎた牛乳を飲んだからだろうか。

エ 母にそれとなく水を向けると、昔の思い出を楽しそうに語ってくれた。

オ 普段は全く連絡してこないのに、助けてほしい時だけ連絡してくるなんて、虫のいい話だ。

問四 破線部(2)「簡単な」と品詞が異なるものを次のアゝオの傍線部のうちから一つ選べ。

ア 公共の場所では静かに過ごしましょう。

イ 十月の下旬頃なら、きつと紅葉がきれいだよ。

ウ 親切な人に道を教えてもらい、目的地までたどり着いた。

エ 使い終わりましたら、所定の場所にお戻してください。

オ 素晴らしい仲間に囲まれて、私は幸せだと思う。

問五 傍線部 a 「意外な複雑性が絡んできます」とはどういうことか。最も適当なものを、次のア～オのうちから一つ選べ。

ア 指示されたことの他にも、より複雑な指示が来る可能性を想定しておかなければならないということ。

イ 指示されたことを遂行する前に、指示内容の不明点について確認しておかなければならないということ。

ウ 指示されたことを実行するために、常識や文脈、話し手についての知識を排除する必要があるということ。

エ 指示されたこと以外にも、それに「付随する仕事」や「気をつけるべき点」に留意しなければならないということ。

オ 指示されたこととしても、「望ましくない結果」を避けるためには、その指示を無視する必要があるということ。

問六 傍線部 b 「この指示自体にも曖昧性や不明確性がある」とあるが、どういうことか。次のア～オのうちから一つ選べ。

ア コップの数や種類、水の種類や量がはっきりしないこと。

イ コップの汚れを気にするべきかどうかわからないこと。

ウ コップをつかむときの適切な強さが判断できないこと。

エ コップに入れた水を誰が飲むのか曖昧であること。

オ コップに水を入れる目的が不明確であること。

問七 傍線部 c 「洗剤を買ってこい」という指示にはどのような「付随する仕事」や「気をつけるべき点」が想定されるか。

九〇字以上一〇〇字以内で具体的に書け。なお、指示自体の曖昧性や不明確性は解消されているものとする。(句読点も字数に含めること。)

問八 傍線部①「爆弾は爆発」、傍線部②「爆弾の爆発」、傍線部③「爆弾が爆発」とあるが、なぜ爆発したのか。それぞれのロボットができたこととできなかったことを書け。

問九 傍線部d「当時のAI」とあるが、当時のAIの問題点を、五〇字以上六〇字以内で書け。（句読点も字数に含めること。）

問十 本文の内容と一致するものを、次のア～オのうちから一つ選べ。

ア 「コップに水を入れて」という同様の指示であっても、コップの内側に虫が止まっているときに、コップから虫を追い出す人もいれば、そのまま水を入れる人もいるなど、人間はAIよりも複雑である。

イ 指示を確実に実行するためには、曖昧性や不明確性を解消することのほか、常識や文脈を考慮するなど、言外の意味にも注意を払いつつ、「付随する仕事」から着手しなければならない。

ウ 同じ指示であっても、その目的や状況によって「付随する仕事」や「気をつけるべき点」が異なるので、指示されたことを適切に実行するためには、それを踏まえた判断が求められる。

エ AIの改良により、「望ましくない結果」が生じる可能性が解消されると予測されたため、開発者らは「多層的で大規模なネットワーク」の実現を急ぐ必要があった。

オ 指示者が意図したことと指示の実行者が解釈した内容が一致なかった場合、両者の間に軋轢あつれきが生じ、思わぬ問題に発展することもあると指摘されている。

カ AIは、人間による規則に従った論理的な計算を得意とするため、人間よりも臨機応変に無視すべき事柄を判断しながら、素早く行動することができる。

問十一 本文における「指示」の例のように、本文の内容を踏まえて、相手の指示を理解し、行動することの難しさについて、

具体的な例を挙げながら、あなたの考えを三〇〇字以内で述べよ。(句読点も字数に含めること。)

二〇二六年度 一般選抜入試 後期日程 メモ用紙

国

語

受験番号				
------	--	--	--	--